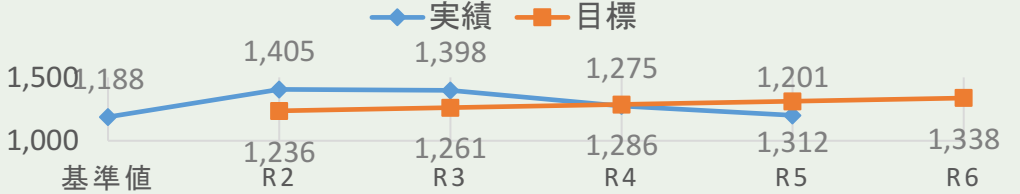


第2期総合戦略の評価結果【重要業績評価指標（KPI）】

- ◆目標ごとにみると、基本目標④で政策効果不十分の割合が目標達成又は政策効果ありを上回った。
- ◆全体では、36指標のうち26指標（72.2%）が目標値を達成又は目標達成していないものの政策効果はあった、10指標（27.8%）が目標達成に向けた政策効果が十分に発現していないという結果であった。

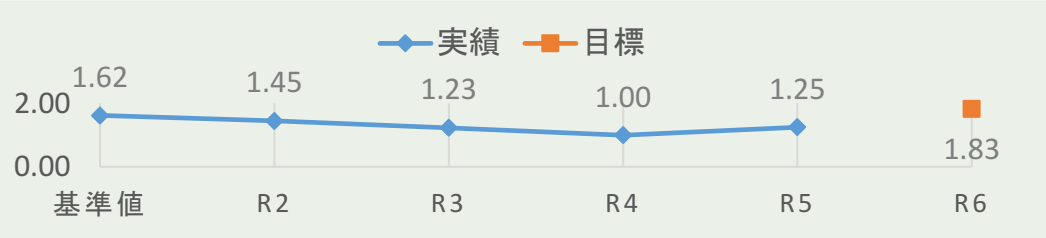
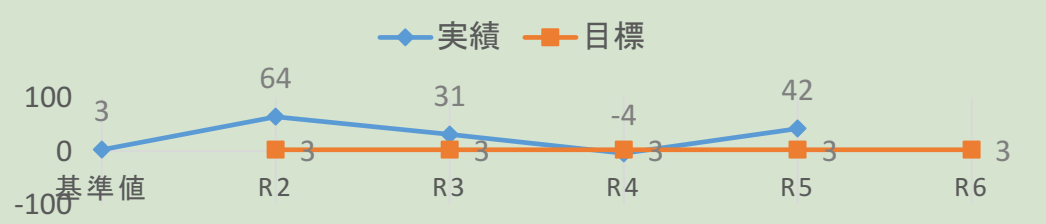
取り組みの 方向性	指標数	◎ (目標達成)	○ (目標達成していないものの 政策効果はあった)	× (政策効果が十分発現 していない)	進捗把握困難
全体	36	12 (33.3%)	14 (38.9%)	9 (25.0%)	1 (2.8%)
基本目標①	8	3 (37.5%)	5 (62.5%)	0 (0%)	0 (0%)
基本目標②	9	4 (44.4%)	4 (44.4%)	1 (11.1%)	0 (0%)
基本目標③	8	3 (37.5%)	4 (50%)	1 (12.5%)	0 (0%)
基本目標④	11	2 (18.1%)	1 (9.0%)	7 (63.6%)	1 (9.0%)

数値目標	基準値	R5実績値	実績値の推移	評価
	目標値			
農業者総所得額（百万円）	1,188	1,201		○
	1,338			
生産年齢人口維持数（人）	5,761	5,042		×
	5,000			

第2期総合戦略の評価結果【数値目標】

基本目標② 結婚～子育ての場として選ばれるまち

◆減少傾向であった合計特殊出生率は、増加に転じた。継続して、子育て支援体制や学習環境の充実をはかる必要がある。
20～49歳の転出超過は、コロナ5類移行による県外就職が増加していることが一因と推測される。

数値目標	基準値	R5実績値	実績値の推移	評価
	目標値			
合計特殊出生率	1.62	1.25		○
	1.83			
20～49歳の転出超過数(人)	3	42		×
	3			

第2期総合戦略の評価結果【数値目標】

基本目標③ 地域の宝を活かした町内外の交流が盛んなまち

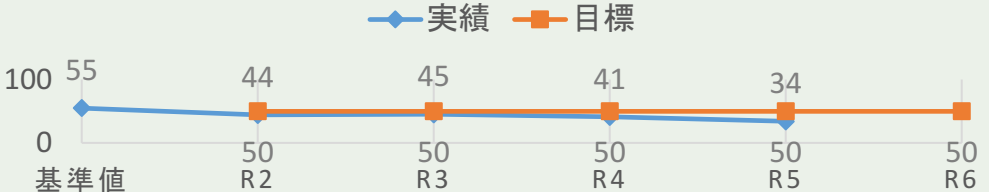
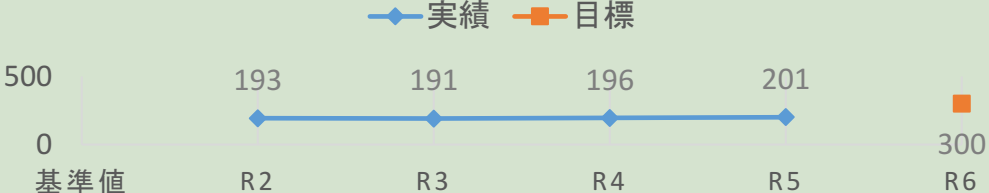
◆各種イベントの再開や、アウトドア人気の高まりにより、観光入込客数が増加した。定住自立圏で連携して参加している移住相談会により、相談件数及び移住体験住宅の利用が増えている。

数値目標	基準値	R5実績値	実績値の推移	評価
	目標値			
観光入込客数 (人)	891,842	919,909		◎
	900,000			
宿泊客数 (人)	38,902	31,329		○
	39,000			
観光消費額 (千円)	2,333,377	2,402,293		○
	2,350,000			

第2期総合戦略の評価結果【数値目標】

基本目標④ 誰もがくらしやすく心豊かに過ごせるまち

◆県内外から移住に関する相談件数が増えており、居住用住宅のニーズが高まっている。また、各種検診への支援では政策効果が低い結果となっているが、予約枠の設置など、受診しやすい環境整備を行ったことにより、受診率は上昇傾向にある。

数値目標	基準値	R5実績値	実績値の推移	評価
	目標値			
住宅リフォーム助成件数（件）	55	34		○
	50			
福祉タクシー利用件数（件）	—	201		○
	300			
交通事故発生件数（件）	15	15		○
	15以下			